

ベルギーにおける問題点と要望

	区分	経由団体※	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
16	雇用	日機輸 日機輸	(1)	労働許可・ビザ取得手続の長期化	<p>・過去より要請していた家族だけのビザの申請ができるようになったが、海外勤務者が渡航して6カ月以上時間が経っている場合は、ベルギー本国政府への照会が必要となり、審査に多大な時間を要する。</p> <p>また、海外勤務者のIDカードのコピーの提出がビザ申請の際に必要で、IDカードを取得できていないとビザ申請ができず帯同時期に制約が発生するケースもある。</p> <p>(継続)</p> <p>・2021年時点で、ワークパーミット発行まで約3ヶ月となっており過去の更新手続きにかかる所要期間は改善傾向にあり。</p> <p>ただし、2021年9月1日より新しい移民局のポータルが導入された。今後若干の遅れが生じる可能性を注視している。</p> <p>ビザ申請時の面接予約はコロナの影響で若干時間がかかるケースも発生している。</p>	<p>・海外勤務者着任後の早期IDカードの発給、および家族のビザ申請書類の簡素化と時間短縮をして頂きたい。</p> <p>・ビザ更新手続きを簡素化及び迅速化して頂きたい。</p>	・移民法

※経由団体:各個社の意見がどの団体を經由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。